



# 荒川区国際交流協会 事務局だより

2019年  
9月号

2019年9月1日発行

編集・発行 荒川区国際交流協会事務局（荒川区役所3階）

〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3 荒川区役所地域文化スポーツ部 文化交流推進課内

HP <http://www.arakawa-kokusai.com>

E-mail: [kokusai@city.arakawa.tokyo.jp](mailto:kokusai@city.arakawa.tokyo.jp) Tel: 3802-3798 Fax: 3802-4769

## 事業報告

## ウィーン市ドナウシュタット区 高校生相互派遣事業

ウィーン市ドナウシュタット区へ派遣した高校生6名が8月6日（火）に帰国しました。ドナウシュタット区役所や在オーストリア日本大使館を表敬訪問したほか、ホームステイを通じて、ホストファミリーと友好を深めました。派遣生は元気で好奇心が旺盛で、訪問先で質問があるか尋ねられると絶えず質問が出ていました。

続いて、8月17日（土）～26日（月）までドナウシュタット区の高中生6名と引率者2名が、荒川区を訪れました。派遣生達は、荒川区派遣高校生宅でホームステイをしながら、西川区長や在日オーストリア大使館の表敬訪問のほか、都内見学や日本の伝統文化を体験しました。

本事業に協賛いただいた東京荒川ライオンズクラブ様をはじめ、ホストファミリーの皆様や茶華道体験等のボランティアの皆様のご尽力に感謝申し上げます。

### In Austria



ドナウシュタット区役所にてネヴィリヴィ区長（後列右）、ヴェーデル元区長（後列左）と



さよならパーティーで披露した二人羽織

### In Japan



オーストリア大使館のマリオ・フィールグラダー所長（左1番目）を訪問し、両国関係などについてお話を伺いました



さよならパーティーでは涙を流したりハグしたりしながら、12人の生徒が別れを惜しんでいました

# ウィーン大学生 インターンシップ体験レポート



◆ウィーン大学日本学科生 2 名が、4 週間、区役所職員としてインターンシップ実習を行いましたので体験レポートをご紹介します。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



## ファビアン・ボビヒ （25 歳）

- ・ウィーン大学日本学科 1 年生です
- ・趣味は武術、動画撮影、写真、食べることです
- ・将来の夢は、今まで勉強したことを日本語も使いながら日本で働きたいです

僕は 7 月 29 日から 8 月 26 日まで荒川区役所文化交流推進課でインターンシップをさせていただきました。29 日は温かい歓迎の後、区役所を案内・説明の後、ホストファミリーのうちに入居しました。

30 日から 8 月 2 日までゆいの森で研修して手伝いました。本の予約、貸し出し・返却カウンターや受付でのお客様歓迎など様々な仕事をし、図書館のシステムについていい勉強になりました。それに、育児室もあって子どもたちと一緒に折り紙をしたり、いろいろなイベントに参加したりできたのが一番楽しかったです。

子どもと遊ぶのが好きで、2 週目の保育園はとて面白い体験になりました。僕は 2 歳の「りす」組で 5 日から 9 日まで手伝いました。子どもと接する経験があまりなく不安でしたが、皆が最初から積極的に僕の近くで話したり遊んだりブロックの迷路を作ったりしてくれて、はやく仲良くなりました。最後の日にお別れしたくなかったです。応急手当の講座も受けていい勉強にもなりました。

3 週目に新しいホストファミリーのうちに転居して、色々な荒川区にある場所を見学しました。初日は提灯を作って、午後南千住など案内して荒川の歴史について説明してくださいました。14 日に荒川ケーブルテレビで見学だけでなく、「こんにちは荒川区」という番組の撮影や編集も手伝わせていただきました。特にグラフィックデザインと動画撮影を勉強した僕にはこの体験が一番面白かったです。15 日にリサイクルセンターに見学に行きました。僕は包装についても勉強したので、荒川区とウィーンのごみの分別やリサイクルの仕方の違いが大変面白く、勉強になりました。16 日に荒川老人福祉センターに行って皆と体操などをしました。元気でまだ体若い人みたいに動けましたから、びっくりしました。あとで荒川エコセンターにも見学に行かせていただきました。

4 週目はウィーンから高校生 6 人が来て月曜日から金曜日まで色々な場所に一緒に行きました。皆は好奇心でいっぱい元気ですぐに仲良くなり久しぶりにたくさんドイツ語を喋りました。ガイドとして高校生について行きましたが、仕事だけでなく、たくさん自分が行きたかったところにも行くきっかけになりました。月曜日はドナウ広場や浅草、火曜日はスカイツリーなどに行きました。水曜日にオーストリアの大使館と江戸東京博物館に行って初めてたくさん通訳をしてとてもいい勉強になりました。木曜日にバスツアーでずっと行きたかった鎌倉と江ノ島へ観光しに行きました。金曜日に高校生の皆と一緒に茶道と生花をやってみました。

このインターンシップで、日本語の上達だけでなく、色々な面白いことを学び楽しい経験ができ、最高の初日本旅行になりました。どうしても帰りたくないの、日本で勉強も仕事もできるようになるためにこれからも日本語を頑張って勉強します！

荒川区役所の皆様、今までどうもありがとうございました。お世話になりました。また、本当にやさしいホストファミリーのおかげで、このインターンシップがさらに面白くなりましたので、皆さんにも感謝申し上げます。

## 事務局員から見たファビアンさんの一面

ファビアンさんは普段はベジタリアンとのことで、受入側としては食事面を一番心配していました。しかし、せっかくに日本に来たのだからと肉や魚も解禁、漬物やそば湯など独特な食べ物にもトライするなど、日本での生活に馴染んでいました。積極的に自ら上手な日本語で話しかけるので、ホストファミリーや区役所の部署の職員ともすぐに打ち解けていました。会話ではあまり使わない行政の単語なども理解していることには事務局員も驚きました。



## ジェシカ・ベンチェス（22歳）

- ・ルクセンブルク出身です
- ・ウィーン大学の日本学科の3年生、一年間日本の大学に留学していました
- ・趣味は読書、カラオケ、美術館巡り、友達とお出かけです
- ・ウィーン大学を卒業後は日本の大学院に進学するつもりです

2019年7月29日から8月26日まで荒川区役所でインターンシップをさせていただきました。荒川区で研修した4週間の間、区内の施設の組織、区民の生活や日本社会について色々勉強出来ました。

1週目、ゆいの森図書館で本の貸し出しや返却などのカウンターの仕事を始め、子供向けのイベントの準備まで、色々経験出来ました。それで、Dさんは荒川区とゆいの森について色々説明してくれたため、図書館の仕事の面白さが分かるようになりました。沢山の人は図書館に対して古い本にあふれた勉強や研究するために行く所というイメージがあると思いますが、ゆいの森は全年齢に対応し、図書館を使用している方に楽しい時間を過ごせるように様々な資料、施設やイベントが提供されています。子供と親と一緒に遊んだり楽しい時間を過ごしたりする遊びラウンジや老人向けの読みやすい大きい字で印刷された本が並んでいるコーナーなど、皆は自分のニーズに応じて図書館の中で気持ちよく楽しい時間が過ごせます。

2週目、熊野前保育園で仕事をさせていただきました。子供が元々から好きでしたが、直接コミュニケーションを取ることに對して、最初に不安を感じました。しかし、子供達は自分で自然に話したり、遊んだりしてくれたおかげで、比較的早く保育園の日常に慣れてきました。子供達と接する中で、子供の良さが分かるようになりました。今の子供達は私達の将来を作るので、子供を大切せざるを得ないと思います。特に現代日本の少子高齢化社会で子供の教育と親の支援は非常に重要です。そのため、毎日、子供達の面倒を見ている保育士の先生に対して感心と感謝を申し上げます。

3週目、荒川区のリサイクルセンター、荒川区老人福祉センターや荒川区のエコセンターなど、区内で色々な施設で見学をさせていただきました。また、区役所の組織について説明を聞き、区役所の業務量に驚きました。オーストリアと自分の国と異なり、日本の区役所は区民の生活を全般的に豊かにするための支援、相談や施設を提供しています。

そして、4週目ウィーンから来た高校生と一緒に東京スカイツリーなど都内、鎌倉や江の島などにも色々な所を観光し、茶道経験や浴衣経験などで日本の伝統文化と接することも出来ました。

このインターンシップのおかげで、色々な違う背景を持っている人と接することを通じてさらに日本社会や文化について勉強することができ、今後の大学の研究にだけでなく、自分の成長に役に立つ経験も積めました。それで自分を磨くためにこれからも一所懸命頑張りたいという意志が固まりました。荒川区役所のお世話になりました皆様、どうもありがとうございました。

最後に、二つのホストファミリーのMさんたちとKさんたちに毎日美味しいご飯を食べさせてくださり、面白い話をしてくださり、色々な所に連れて行ってくださりました。心よりありがとうございました。皆さんのおかげで、いい思い出が作れました。また会える日を楽しみにしています。

### 事務局員から見たジェシカさんの一面

ジェシカさんは一見大人しいですが、質問するといつも自分の意見がしっかりあり、芯が強い印象をうけました。また、カラオケが好きと聞いていたので、仕事後に一緒に行ったところ、きれいで透明感のある歌声を披露してくれました。移動中に本を読んでいたため、何の本か聞くと、夏目漱石の「こゝろ」でした。現在は我々日本人でもあまり使わない漢字や言葉が多用される本が読める語学力に驚きました。なお、ルクセンブルク語、日本語、ドイツ語、英語、フランス語、広東語の6か国語ができるそうです。

## 今後の予定

予告

### 日唄親善リサイタル（日唄友好 150 周年記念） ゾフィー シュタイナー ハープリサイタル（仮題）

例年行っている日唄親善リサイタルですが、今年はハープを中心とした楽器構成でのアンサンブルとする予定です。曲目や他の楽器の奏者など、詳細が決まりましたら改めて事務局だより等でお知らせいたします。ゾフィーさんは現在日本在住、日本語でMCもできるそうなので、楽しいリサイタルにこうご期待！

**日時** 12月17日（火）、午後7時～8時30分（予定）  
**場所** 日暮里サニーホール（日暮里5丁目50-5）



参加者募集！

### 国際交流サロン 茶道教室 （国籍問わず参加できます）

日本文化を通して、国際交流しましょう！おいしいお茶と季節のお菓子を楽しみましょう。初心者の方も大歓迎です。作法のお稽古もしますが、正座が難しい方は椅子を利用することができます。

**日時** 10月4日（金）、11月8日（金）、2月7日（金）  
午前10時30分～正午  
**費用** 500円（外国出身者300円）  
**場所** アクト21（荒川区東尾久5丁目9-3）3階和室  
**対象** 区内在住・在勤・在学者（日本人・初心者の方でも参加いただけます）  
**申込** メールまたは電話で、開催日3日前までに、荒川区国際交流協会事務局へ



参加者募集！

### 初心者向け楽しい中国語入門講座

2020 東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、区内に訪問・滞在する外国人観光客などが安心して滞在できる環境を整えるため、一緒に中国語を学んでみませんか。

**日時** 10月2日、9日、16日、23日（いずれも水曜日、19時～21時）  
**場所** 日暮里ひろば館 3階 303洋室（西日暮里2-10-9）  
**講師** 田朝霞（でん ちょうか）氏  
**内容** ・中国語に関する簡単な紹介、あいさつ、発音、日常会話、中国語の歌など  
**対象** 荒川区在住・在勤・在学で16歳以上の方20名（申込順）  
**申込** メールまたは電話で、9月30日（月）までに、荒川区国際交流協会事務局へ



事務局だよりを e-mail で配信します！  
ぜひ、ご利用ください！

メール配信の方には、事務局だよりをカラーでご覧いただけます。是非ご登録ください。詳しくは事務局へご連絡ください。  
e-mail : kokusai@city.arakawa.tokyo.jp

#### 編集後記

オーストリアは、かつてハプスブルグ家がヨーロッパの広域を支配した中で、人種や文化を融合して発展してきました。オーストリアのシュニツェルやザハートルテは世界的に有名ですが、肉にパン粉をつけて揚げる料理やチョコレートケーキ自体は別の国の発祥で、昇華させたのがオーストリアだそうです。他国のものを柔軟に受容し、自国の文化と融合させるという点では、日本と似ているかもしれませんね。（安藤）